

# 人材委員会での今後の議論のための整理ペーパー（案）

## ポイント

- ①主な目標：第4期「科学技術基本計画」へ向けた提言を行うこと。
- ②タイムスパン：平成23年度～平成27年度の5年間。
- ③対象：科学技術関係人材(特に産業界等で活躍し、将来イノベーションを創出できる人材の養成)。

### 目標

#### 1.知識基盤社会が求める科学技術関係の人材像

- 1-① 知識基盤社会を支える人材 1-② 世界をリードする研究人材

中央教育審議会制度・教育部会  
(高等教育制度及び大学教育の在り方)  
中央教育審議会大学院部会  
(大学院の在り方等)

- ①研究者交流の在り方
- ②受け入れ環境の整備など

#### 科学技術・学術審議会国際委員会

(科学技術・学術分野における国際活動の戦略的な推進)

#### 中央教育審議会留学生特別委員会

(今後の留学生交流の在り方)

### 国際

#### 6.国際化に対応した人材養成方策

- 6-① 博士後期課程学生やポスドクなど若手研究人材の国際的好循環のための人材養成方策
- 6-② 優秀な留学生や外国人研究者にとって魅力ある拠点の形成

科研費の在り方など

#### 科学技術・学術審議会学術分科会

(学術の振興)

#### 研究費部会…4

#### 中央教育審議会制度・教育部会

(高等教育制度及び大学教育の在り方)…2

#### 大学院部会

(大学院の在り方等)…2・3

### 国内

### 大学・研究機関

### 活躍の場

### 社会

#### 2.知識基盤社会の多様な場で活躍する人材の養成方策

- (学士・修士・博士課程の在学者・修了者)
- 2-① 理工系離れの対策
- 2-② 企業人としての基礎力不足への対応など、産学をつなぐ人材養成方策
- 2-③ 教員の意識改革のための取組等

#### 3.世界をリードする研究者の養成方策

- (若手研究者、女性研究者等)
- 3-① 更なる充実方策(P)

#### 4.人材養成に係る研究資金等の制度改革

- (研究者・教員)
- 4-① 博士後期課程学生などへ経済的支援を促進する方策
- 4-② 競争的資金獲得のインセンティブを高める方策
- 4-③ 評価などの際に人材養成に関する意識を醸成させる方策

#### 5.次世代を担う人材育成方策

- (小・中・高等学校の児童・生徒)
- 5-① 更なる充実方策(P)

#### 中央教育審議会制度・教育部会

(高等教育制度及び大学教育の在り方)

#### 中央教育審議会初等中等教育分科会

(初等中等教育の振興、初等中等教育の基準、教育職員の養成、並びに資質の保持及び向上)

- ①教育課程②教員養成③教育制度などに関する全体の在り方と推進方策など

若手

時間

裾野